

秋は駆け足です。10月が始まったと思ったら、もう11月。この間、円高の進行、ユーロの変調、タイの洪水など、経済や世界の状況はめまぐるしく変化しています。教育系の学会が開催され、参加されたネットワーク関係の先生方も多かったようです。大学では後期授業が本格化、高校では推薦試験の受付など勉強モードになっています。三学期制の学校では中間考査もあり、よく遊べからよく学べへの切り替えが大事になってきています。大学は学園祭の季節でまだ半分は遊べの雰囲気かもしれません。とはいえ、三年生は今年が就活の時期がずれ、落ち着かない気分かもしれません。そのようななかですが、今月も、ネットワークの活動情報とこれからの予定をお送りします。

---

◆ 目次

---

【1】最近活動報告

10月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

11月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します

【3】授業のヒント

---

【1】最新活動報告

1) 大阪部会を開催しました。

台風のために一と月延期をしていた25回の大阪部会が、10月8日(土)に同志社大学大阪サテライトで開催されました。出席者は12名。

主な内容は、篠原代表の活動報告、夏の教室に参加された洪先生、奥田先生の報告、読売新聞と共同で計画中の新聞を使った教材作り、京都府立すばる高校ファイナンス科の紹介などでした。

詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka025report.pdf>

2) 東京部会を開催しました。

42回の東京部会が、10月18日(火)に日本大学経済学部7号館会議室で開催されました。出席者は12名。

主な討議内容は、篠原代表の活動報告、新井から、夏の教室の後始末、来年の夏の教室のスケジュール案、入試プロジェクトの取り組み、学会参加報告などがなされました。その後、経済教育のガラパゴス化という資料の紹介と討論、関連してて宮尾先生から資料提供と討論などが行われました。

詳細は HP の以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo042report.pdf>

3) メンバーが各種学会で報告しています。

秋の学会シーズンにネットワーク関係者が報告をしています。

10月1・2日に行われた経済教育学会では、東京から高橋先生（桜修館中等）、金子先生（三浦臨海）、新井が、大阪からは松井先生（府立旭）が自由研究報告を行いました。

10月22・23日に行われた日本社会科教育学会では、東京から山崎先生（筑波大学院・豊富高校）、新井他で入試プロジェクト、大阪から松井先生が自由研究で報告を行いました。また岩野先生（和歌山大学）、岩本先生（静岡大学附属島田中）もそれぞれ研究発表をしています。

そのほか、10月8・9日に行われた全国社会科教育学会でも、メンバーが研究発表をしています。大学の先生方にとっては学会は重要な場ですが、中高で実践を行っている先生にとっても貴重な研究発表の場になっています。今後も、ネットワークメンバーの積極的な発表が期待されます。

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからの主な予定を日程順に掲載します。前号にすでに掲載されたものもありますが、再掲します。

### ■札幌部会（No.1）を開催します

北海道ではじめての部会が立ち上がります。経済教育に関心のある先生はぜひご参加ください。

日時：2011年11月12日（土） 14時30分～16時30分

場所：北海道教育大学 サテライト教室

主な内容：篠原代表の講義（江戸の幕政改革）、実践報告、部会の進め方に関する情報交換

参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto011flyer.pdf>

### ■京都部会（No.11）を開催します

日時：2011年11月18日（金）19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto011flyer.pdf>

■東京部会 (No.43)開催します

日時：2011年11月22日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室3

主な内容：総会にむけての内容確認、経済の効率性をどう教えるかの討議などを予定しています。また、TPPに関する授業の実践報告も予定されています。

参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo043flyer.pdf>

■年次大会を開催します。

12月3日(土)に年次大会を同志社大学で開催いたします。

今回は「経済教育と法教育の対話」をタイトルとして、法教育と経済教育の連携や新たな視点からのアプローチを考えます。

内容、参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS.Sympo/2011symposium%20leaflet.pdf>

■経済教育ワークショップ in 福井を開催します。

12月8日(木)福井大学で開催いたします。

今回は、主に高校の先生方を対象に金融に関する講義と中高の先生向けの歴史を経済から読み解く講義を行います。

内容、参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS.Sympo/2011%20fukui%20WS%20final.pdf>

以下、連携している関連団体のイベントを掲載いたします。

■金融教育フェスティバル《京都》

金融広報中央委員会と各地の金融広報委員会が主催する金融教育のイベントです。先生向けのプログラムも用意されています。

日時 2011年11月23日(水)

場所 京都市勧業会館みやこめっせ

内容、参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.festival2011.jp/>

■第26回授業のネタ研究会 IN 関西

今年の「夏の経済教室」の実践報告で圧倒的なインパクトを与えたネタ研の集会です。

日時 2011年12月23日(金)

場所 高津ガーデン(近鉄奈良線 上本町下車 東北徒歩5分)

内容、参加方法は下記のHPでご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/26th%20neta%202011.pdf>

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

「新聞を教材に」-新聞スピーチ-

NIE というのをご存じでしょうか。Newspaper in Education の略で、「教育に新聞を」という教育運動です。新学習指導要領で新聞の活用が書き込まれたために、注目されている動きです。各新聞社も熱心に支援をして、全国研究大会も開催されています。ネットワークでも、読売新聞と共同の教材作りのお手伝いをはじめています。

新聞を読むというのは、私たちの世代では当たり前のことですが、現在の生徒たちではそれほど当たり前になっていません。インターネットの普及により家庭で新聞を購読しないケースがだんだん目立ってきています。私の学校でも、1割程度はそのような家庭があります。大学生の購読率は7割を切っているというのが実感です。下宿生はほぼ全滅かもしれません。

新聞をいかに教材化するかに関しては、NIE の中でたくさん紹介されています。私（新井）の場合は、単純で、毎時間授業の本論の前に、「新聞スピーチ」をさせています。新聞の記事（例えば朝刊の1面の記事）を紹介し、自分の感想を述べるというものです。紹介する記事を特に縛らなければ、中学公民や、「現代社会」で使えるし、一面縛りにしておくと「政治・経済」の授業に使える方法です。新聞を購読していない生徒には、学校の図書館で読んで、それを紹介しなさいという指示を出します。

「新聞スピーチ」では、世の中様々な動きが、教室で学んでいる知識とリンクしていることが実感できればよいくらいの気持ちで継続するとよいと思います。生徒は、仲間がどんな記事を持ってきて、どんな感想を言うか意外と興味をもって聞いています。だから、通り一遍の発表だと、教員が指摘する前に教室に弛緩した空気が流れます。「新聞スピーチ」を通して、新聞と友達になれば大成功です。

なお、私はスピーチ用の原稿（3分用で600字程度）を書かせること、定期考査にスピーチで取り上げられた時事問題に関する確認テストを入れて、やりっぱなしにしないようにしています。そんなちょっとした工夫もされるとよいと思います。

---

### 【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

---

先日、東京証券取引所に見学に行ってきました。丁度定期考査終了日で、午後が空いたので、生徒と一緒にいかないかと声をかけたら、現在、総合学習で「ストックリーグ」に取り組んでいる生徒が数人手をあげて同行してくれました。この生徒たちは、去年は「株式学習ゲーム」に参加をしていたので、取引所を実際に見たかったのでしょうか。何人参加するかわからなかったのが、予約もせずにでかけたのですが、ちょうど見学ツアーの出発に間に合い、一緒に見学することができました。当日は、東証社長の記者会見が行われており、それを上から見たり、ニュースでおなじみの風景を確認したり、ちょっとした遠足気分の見学でした。でも、帰りがけ「こんなところに就職してみたいですね、先生」とい

う生徒もいて、やはり「百聞は一見に如かず」ということを実感しました。(新井)

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお  
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



---

編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇